

群マネの実施方針(富山市)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

[プロセスと自治体の束]の両輪による、**橋梁トライアージ**を柱とした**メリハリ**のあるインフラマネジメントの更なる推進

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

①対象範囲 (インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	巡回 清掃 除草 剪定		橋梁	橋梁	橋梁	橋梁
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル
			道路附属物	道路附属物	道路附属物	道路附属物
			舗装	舗装	舗装	舗装
河川		除草	河川構造物	河川構造物	河川構造物	河川構造物
公園		除草・剪定	遊具	遊具	遊具	遊具
下水道			管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場
その他			農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路

- ① 多分野連携 R2年度～
- ② 多分野連携 R7年度～
- ③ 広域連携 R7年度～

富山市は7地域の市町村合併により、中核市で最大の面積となり、旧7市町村それぞれで管理していた膨大な道路インフラを2拠点でマネジメントしていたが、多分野連携の観点から、より専門性の高い橋梁やトンネル等のマネジメント体制を本庁に集約



②発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有・無
- 性能規定の導入 : 有・無

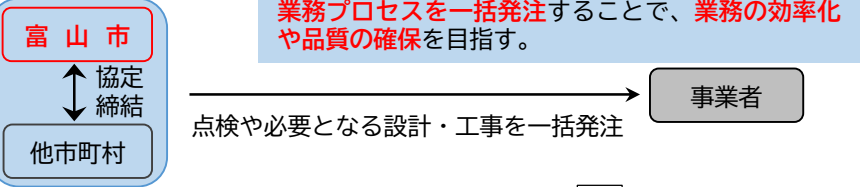
(2) 群マネを支える束

①プロセスの束

専門性が高い橋梁やトンネル等において、計画・設計・整備・修繕・改築、さらには集約・撤去など、全てを一体的に検討する**統合的マネジメント**体制を構築し、**橋梁トライアージ**に基づく**メリハリのある対応**を推進することで、持続可能なインフラマネジメントの実現

道路トンネルと道路附属物等における、**計画策定・点検業務を束ねて実施**することで、将来を見据えた統合的なマネジメントの実現と、業務の作業の効率化やスケールメリットを活かした**コスト縮減**を目指す。

②自治体の束



- 地方自治法上の共同処理制度の適用 : 有・無
- 連携協力道路制度の活用 : 有・無

(3) 技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

- ⇒ 産学官の技術者連携による職員の技術力向上や新たな知見の共有
 - ・土木研究所や土木学会 : インフラ維持管理に関する共同研究の実施
 - ・北陸SIPなど学術機関 : 新技術の導入に向けた取組み
 - ・富山広域連携中枢都市圏 : 近隣4市町村との合同研修会の開催
 - ・インフラマネジメント先進自治体 : 県内外を問わず積極的な交流による情報交換
 - ・県内の工業系高等学校 : 出前授業やセルフメンテナンス現場研修の実施

②データ連携の具体メニュー

- ⇒ 富山県橋梁維持管理システムの導入により、点検・診断のバラつきが防止され、診断精度の向上や点検業務全体の効率化を推進。(R8年度～)